



# 皆繋 MINA TSUNAGI

今回のまちの主役は、社会的孤立を招くすべての社会課題を解決することを使命に、子どもやその親、高齢者の架け橋となって活動している特定非営利活動法人皆繋を紹介します。



▲遊んだ後は勉強。自然に机に向かい、私語がなくなり、集中できる環境になります。

皆繋は、平成28年に設立され、居場所や活動場所の提供、社会課題の調査など、さまざまな活動を行っています。法人は、現在、正会員13人、そのうち4人がスタッフとして活動しています。みんなをたなく場所として開設された「こみゆすぽ安岡」では、無料で、遊びや食事の提供、学習支援が行われています。スタッフの他にも学生ボランティアの方などが一緒に過ごします。法人を設立した代表理事

**君のそばに  
君がそばに  
誰も一人ぼっち  
にならない社会  
を目指して**

の林さんに話を伺いました。「支援をすることで子どもが喜んでいく姿が自分の喜びになります。『君のそばに、君がそばに』をスローガンに活動しています」

こみゆすぽ安岡を訪れました。新型コロナウイルス感染症防止などのガイドラインを作成し、活動していました。この日は12人の子どもたちが集まり、4人のスタッフと一緒に過ごしました。スタッフは、子どもたちが来る前に食事や遊び場の準備をします。「こんにちは」とあいさつをして子どもたちがやってきました。まずは遊びの時間です。晴れの日は中庭で遊びます。「中庭で遊ぶ子どもたちの様子を隣接の介護施設の入居者の方が孫を見るような目で応援してくれるんです」とうれしそう





# まちかどボイス

今月のテーマ  
好きな食べ物



◀林代表理事。「人との関わりは面倒くさいかもしれませんが、その先に喜びがあることを知ってほしいです」



▶勉強の後は夕食。みんなで「いただきます」

に話す林代表理事。遊んだ後は勉強の時間です。学校の宿題など分らないところを子ども同士で教えあったり、スタツフに質問したりしながら勉強します。勉強の後は食事の時間です。「みんなで食べることによって、嫌いな食べ物を食べられるようになった子どもいます」と林代表理事。食べ終わったら自分で食器を洗います。スタツフは「家でも食器を洗う習慣が身に付きました」とお母さまから報告を受けたりますこともあるんです。子どもたちは「ありがとうございます。子どもたちは「ありがとうございます」といさつをして帰っていきました。

## コロナ禍の中で

法人は、新型コロナウイルス感染拡大で多大な影響を受けている子育て家庭の暮らしを支えるため、給食休止時にお弁当を配布したり、給付金を支給したりしました。そして、今年の5月に市長から感謝状が贈られました。

また、山口県で育った大学生などが学生生活を継続できるように寄付金を募り、支援しています。林代表理事は「コロナの影響で退学する学生を一人も出したいくないんです」と強い思いを話します。強い思いを原動力に課題解決への歩みは続きます。

## 編集後記

- 恋する乙女のごとく、頭がウニ一色になり、サザエもウニと言ってしまう日々でした。UNIVATIONで何が起きるか楽しみです。(ひ)
- 取材での写真撮影のとき、笑顔の表情を撮りたいので、面白いことを言いたいのですが、思い付きません。誰か教えてください。(き)
- 取材を通して、幅広い世代の方からお話を聞かせていただく機会が増えました。さまざまな価値観があり、勉強になります。(と)